# 流域治水プロジェクト2.0
## ～流域治水の加速化・深化～

○ 気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取組を加速化・深化させる。このために必要な取組を反映し『流域治水プロジェクト2.0』に更新する。

### 現状・課題

- 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算
  現行の河川整備計画が完了したとしても治水安全度は目減り
- グリーンインフラやカーボンニュートラルへの対応
- インフラDX等の技術の進展

### 必要な対応

- 気候変動下においても、目標とする治水安全度を現行の計画と同じ完了時期までに達成する
- あらゆる関係者による、様々な手法を活用した、対策の一層の充実を図り、流域治水協議会等の関係者間で共有する。

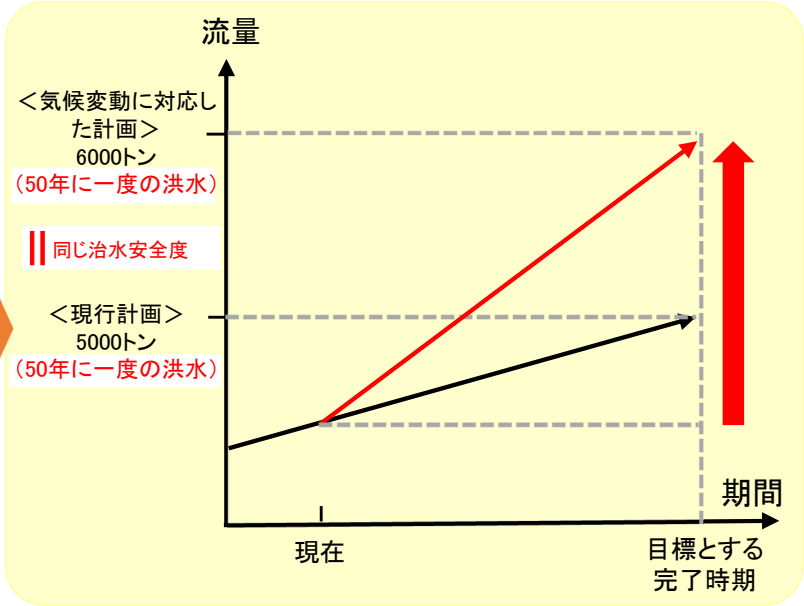
| 気候変動シナリオ | 降雨量（河川整備の基本とする洪水規模） |
|---|---|
| 2℃上昇 | 約1.1倍 |

降雨量が約1.1倍となった場合

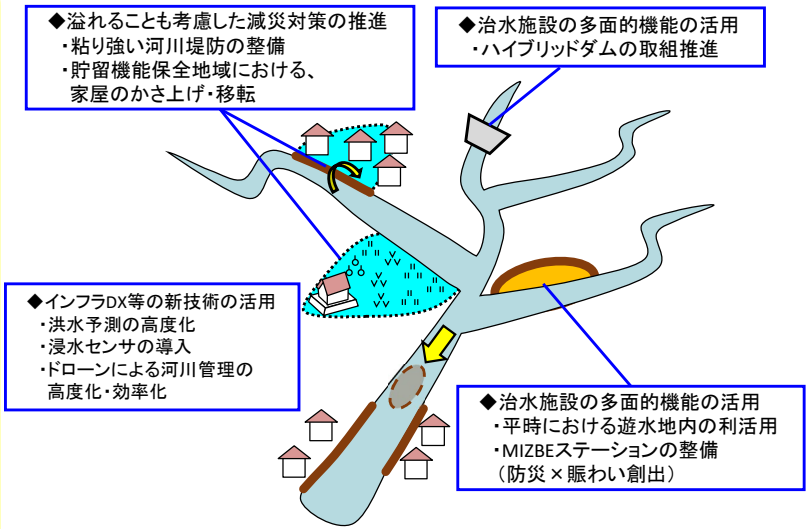
| 全国の平均的な傾向【試算結果】 | 流量 |
|---|---|
| | 約1.2倍 |

同じ治水安全度を確保するためには、
目標流量を1.2倍に引き上げる必要

### 必要な対応のイメージ




### 様々な手法の活用イメージ




※現行の計画と同じ完了時期までに目標とする治水安全度を達成するため、
様々な手法を活用し、集中的に整備を進めることが必要

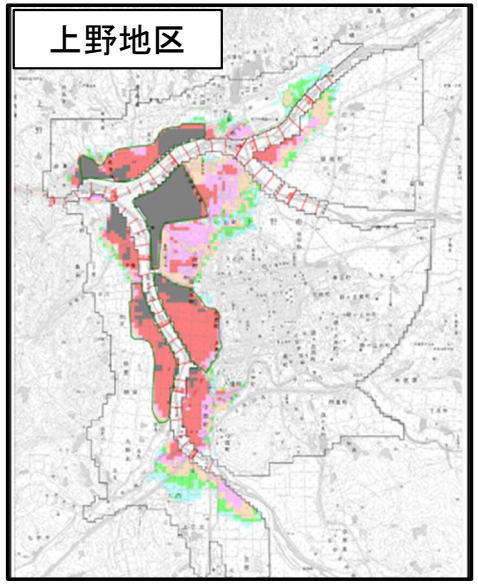
⇒現在の河川整備計画に基づく対策や流域における各取組を推進するとともに、気候変動を踏まえて追加で必要となる対策案の詳細については、更に議論を深めていく。

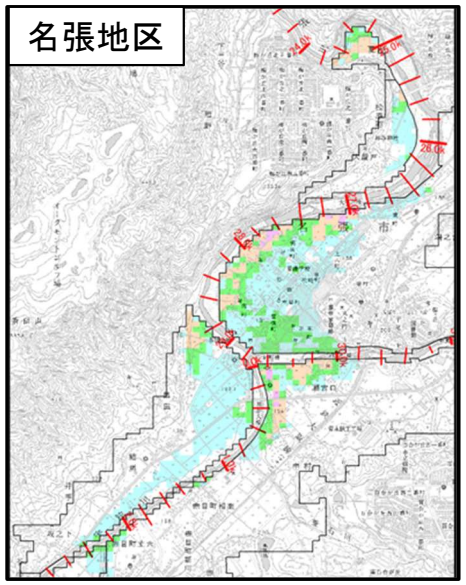
# 気候変動に伴う水害リスクの増大

〇気候変動による降雨量増加後の河川整備計画規模の洪水が発生した場合、木津川上流域では浸水家屋数が約2600戸になると想定され、事業の実施により、浸水被害が解消される。（淀川水系河川整備計画はR3.8に、気候変動による降雨量増加を考慮して変更済み）

## ■気候変動に伴う水害リスク

国管理区間からの外水氾濫による浸水範囲・浸水世帯数

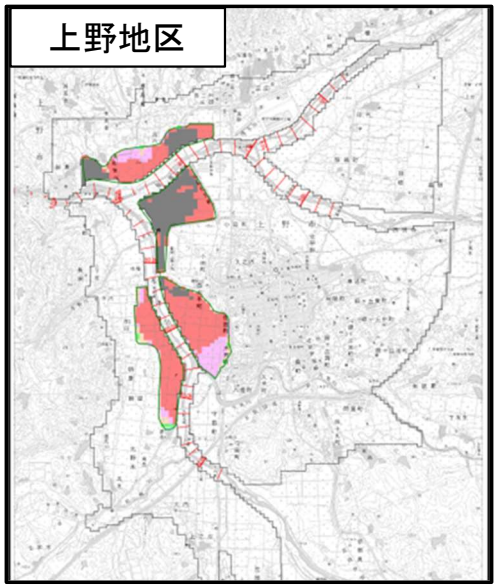


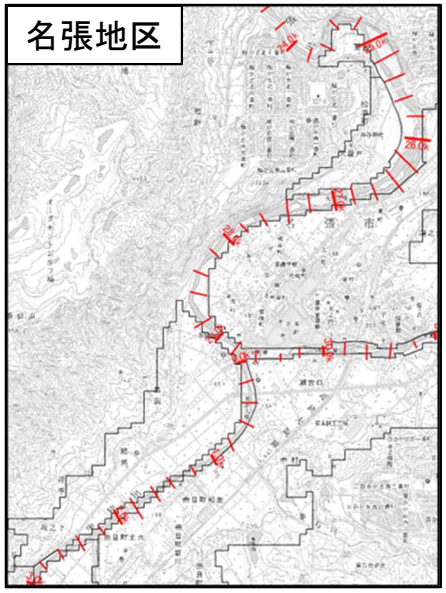




＜現状・気候変動考慮＞ 河道：R1末時点
外力：現行河川整備計画の目標流量（気候変動考慮）

対策後

【目標①】
（上野地区）
KPI：浸水家屋数
約1,200戸⇒0戸
（名張地区）
KPI：浸水家屋数
約1,400戸⇒0戸




＜対策後＞ 河道：整備計画完了時点
外力：現行河川整備計画の目標流量（気候変動考慮）

## ■水害リスクを踏まえた各主体の主な対策と目標

【目標①】気候変動による降雨量増加後の整備計画目標洪水に対する安全の確保

木津川、服部川、柘植川、名張川、宇陀川、青蓮寺川

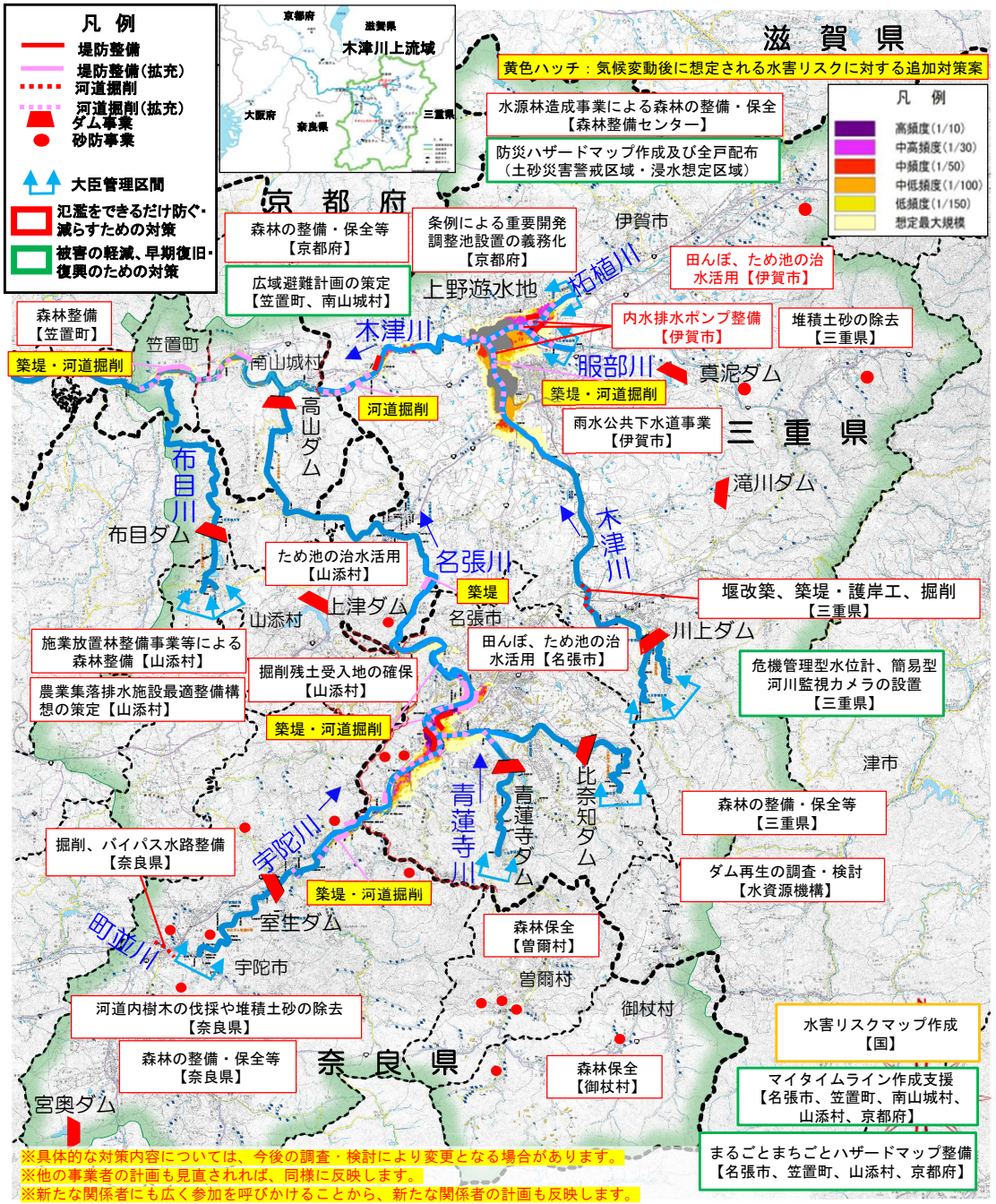
| 種別 | 実施主体 | 目的・効果 | 追加対策 | 期間 |
|---|---|---|---|---|
| 氾濫を防ぐ減らす | 国 | 計画規模洪水を安全に流下させる | | 概ね30年 |
| 被害対象を減らす | 名張市 | 立地適正化計画策定予定（R6） | | － |
| 被害の軽減 早期復旧 復興 | 国 | 土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討 | 多段階の浸水想定図（浸水頻度毎の浸水深図）及び水害リスクマップ（浸水深毎の浸水頻度）の整備 | － |
| | 気象庁 | 線状降水帯発生予測技術の活用 | | |
| | 名張市、笠置町、山添村、京都府 | マイタイムライン作成支援 | | |

【目標③】小田地区における内水被害の軽減（1/10規模降雨の雨水出水による浸水被害を防止）

| 種別 | 実施主体 | 目的・効果 | 追加対策 | 期間 |
|---|---|---|---|---|
| 氾濫を防ぐ減らす | 伊賀市（下水道） | 小田地区の内水の排除 | 排水施設・ポンプ | |

# 淀川水系流域治水プロジェクト2.0 木津川上流分会【位置図】
## ～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

R7.3更新




※具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。
※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。
※浸水リスクを示す浸水範囲については、リスクマップを公表している木津川上流河川事務所管理区間のみを表示している。

**○木津川上流域では、近年の豪雨や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、以下の取り組みを一層推進していくものとし、国管理区間においては、気候変動の影響等を踏まえ、これまでの目標洪水の降雨量1.1倍以上とした洪水を安全に流下させることを目指す。**

### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫対策】
・河道掘削・拡幅、築堤、橋梁架替、堰改築、川上ダム、上野遊水地、バイパス水路、掘削残土受入地の確保推進
【内水氾濫対策】
・下水道（雨水）管渠等の排水施設整備、内水排水ポンプ整備、雨水公共下水道事業の整備
【土砂災害対策】
・砂防堰堤、渓流保全工の整備、地すべり対策
【流水の貯留機能の拡大】
・川上ダムの整備、利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、効果的な事前放流の実施（予測精度向上や施設改良）、河川改修に伴うダム運用改善、ダム再生の調査・検討、ダム湖の堆砂除去
【流域の雨水貯留機能の向上】
・調整池の整備、田んぼ・ため池等の治水活用
・森林の整備・保全、治山　　等

御杖村の地域おこし協力隊（森林保全）

### ■被害対象を減少させるための対策

【水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫】
・土地利用誘導（災害危険区域の指定など）
・災害危険区域や建築制限の指定を受けた区域の整備（立地適正化計画策定事業など）　　等
【まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実】
・水害リスクマップの作成

### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【土地の水災害リスク情報の充実】
・地形改変等のあった箇所の基礎調査、水害リスク空白域の解消
【あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供】
・防災教育の実施、水害履歴の情報発信
・ポータルサイトにおける水害リスク情報の充実
【避難体制等の強化】
・避難指示に着目したタイムラインの策定　・マイ・タイムラインの作成
・避難情報に着目した複数市町村を対象とした流域タイムラインの作成
・広域避難計画の策定　・多機関連携型タイムラインの拡充
・ハザードマップの改良・周知・活用　・まるごとまちごとハザードマップの整備
・内水ハザードマップの策定　・システム等による危険度情報の発信
・避難指示等の判断・伝達マニュアルの整備　・関係機関が連携した実動水防訓練の実施
・要配慮者利用施設における避難計画の策定及び避難訓練の促進　・避難支援対策の整備
・水防団や地域住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検
・水防活動の担い手となる水防団員や水防協力団体の募集・指定の促進
【関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化】
・排水施設情報の共有・排水手法等の検討、大規模水害を想定した排水計画の作成、排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施、水防拠点の検討　等

南山城村の避難行動タイムラインの作成

# 淀川水系流域治水プロジェクト2.0　木津川上流分会

| 氾濫を防ぐ・減らす | 被害対象を減らす | 被害の軽減・早期復旧・復興 |
|---|---|---|
| ○気候変動を踏まえた治水計画への見直し<br>＜具体の取組＞<br>・気候変動を考慮した河川整備計画に基づくハード対策<br><br>○役割分担に基づく流域対策の推進<br>＜具体の取組＞<br>・内水排水ポンプ整備<br>・田んぼ・ため池の治水活用<br>・森林の整備・保全、治山<br><br>○多面的機能を活用した治水対策の推進<br>＜具体の取組＞<br>・効果的な事前放流の実施（予測精度の向上）操作規則・実施体制の構築<br>・河川管理施設の長寿命化・防災拠点整備、重要施設の移転<br>・木津川水系に流入する土砂流出抑制による土砂・洪水氾濫対策 | ○溢れることも考慮した減災対策の推進<br>＜具体の取組＞<br>・災害危険区域や建築制限の指定を受けた区域の整備<br>・ 立地適正化計画の策定<br>・避難路、避難場所の安全対策の強化<br>・土砂災害警戒区域等の指定 | ○気候変動を踏まえた治水計画への見直し<br>＜具体の取組＞<br>・気候変動を考慮した河川整備計画に基づくソフト対策<br>・マイ・タイムラインの作成<br>・多機関連携型タイムラインの拡充<br>・水位計・監視カメラ・簡易量水標の設置<br><br>○役割分担に基づく流域対策の推進<br>＜具体の取組＞<br>・自主防災会や自治会、行政に対して、災害への備えの講演やアドバイスを実施<br>・小中学校等における水災害教育や土砂災害教育の実施<br>・メディア出演による防災啓発と広報活動<br>・関係機関が連携した実働水防訓練の実施<br>・防災訓練の実施<br><br>○インフラDX等の新技術の活用<br>＜具体の取組＞<br>・線状降水帯の発生を知らせる「顕著な大雨に関する気象情報」を予測技術を活用 |

# 淀川水系流域治水プロジェクト2.0 木津川上流分会【ロードマップ】
# ～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

- 木津川上流域では流域全体を俯瞰し、国、府県、市町村等が一体となって、以下の手順で「流域治水対策」を推進する。
  - 【短　期】 治水安全度を着実に向上させるため、川上ダムと名張川黒田地区引堤を完成させる。
  - 【中　期】 木津川上流域で人口資産が集中する伊賀・名張・宇陀市街地において、河道掘削及び堤防整備等を推進する。
  - 【長　期】 気候変動を踏まえた更なる対策を推進し、河道掘削や堤防整備等により木津川上流域の安全度向上を図る。
    また、河川改修のストック効果の最大化により、ダムの運用改善等に取り組む。
- あわせて、水防拠点整備や管理施設の長寿命化対策等を実施する。
  豪雨が頻発・激甚化する中、市街地の浸水被害を防ぐ内水被害軽減対策としてポンプ場の整備、ため池や田んぼ等の活用に取り組む。
  大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、森林保全等の流出抑制策に取り組む。

| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 短期 | 中期 | 長期 |
|---|---|---|---|---|---|
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 名張川の河道（河床）掘削、引堤、築堤、橋梁架替等による洪水氾濫対策<br>水防拠点の検討 | 国土交通省 | | 名張川黒田地区引堤完成（国土交通省） | |
| | 名張川、宇陀川、青蓮寺川、町並川、山田川等の河道（河床）掘削や築堤、地下バイパス水路、樹木伐採・堆積土砂撤去等による洪水氾濫対策 | 国土交通省、三重県、奈良県 | | | 木津川上林・上神戸工区完成（三重県） |
| | 木津川、服部川、柘植川等の河道（河床）掘削や樹木伐採・堆積土砂撤去、遊水池の整備等による洪水氾濫対策 | 国土交通省、三重県、京都府 | | 大戸川小田排水機場、浅子川の内水排水ポンプの整備（伊賀市） | |
| | 下水道（雨水）管渠等の排水施設整備、内水排水ポンプ整備、雨水公共下水道事業の整備 | 伊賀市 | | | |
| | 砂防堰堤工、渓流保全工の整備、地すべり対策 | 国土交通省、三重県、奈良県 | | | |
| | 川上ダムの整備、利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、効果的な事前放流の実施（予測精度向上や施設改良）、ダム湖の堆砂除去、河川改修に伴うダム運用改善、ダム再生の調査・検討 | 農林水産省、水資源機構 | 川上ダム完成（水資源機構） | | |
| | 調整池の整備、田んぼ・ため池等の治水活用、森林の整備・保全、治山等 | 農林水産省、三重県、京都府、奈良県、伊賀市、名張市、山添村、曽爾村、御杖村、森林整備センター | | | |
| 被害対象を減少させるための対策 | 土地利用誘導（災害危険区域の指定など）、災害危険区域や建築制限の指定を受けた区域の整備（立地適正化計画策定事業など） 等 | 名張市 等 | | | |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 水害リスク情報の空白域の解消等による土地の水災害リスク情報の充実 | 国土交通省、三重県、京都府、奈良県 | | | |
| | 防災教育の実施等によるあらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供 | 国土交通省、水資源機構、三重県、京都府、奈良県 | | | |
| | 避難指示に着目したタイムラインの策定、マイ・タイムラインの作成等による避難体制等の強化 | 全ての主体 | | | |
| | 大規模水害を想定した排水計画（案）の作成等による関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化 | 国土交通省、三重県、京都府、奈良県 | | | |
| グリーンインフラの取組 | ※詳細は次ページ | | | | |

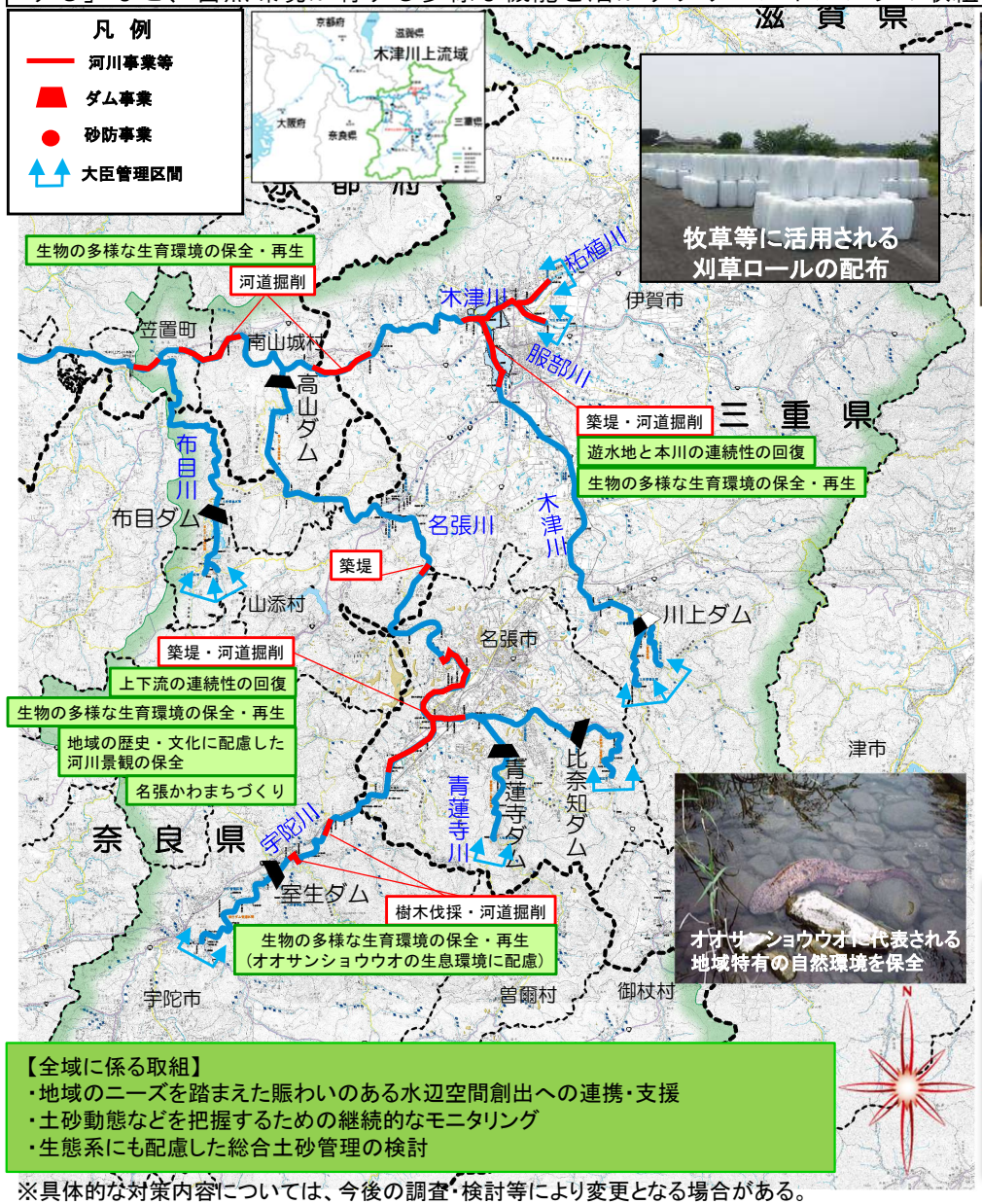
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

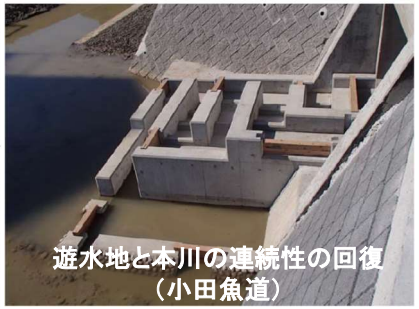
# 淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【位置図】
## ～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

## ●グリーンインフラの取り組み　『淀川の水と緑が組み合う流域治水対策』

○ 木津川上流部の一部は室生赤目青山国定公園に位置し、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの生息が確認されている。また、岩倉峡や赤目四十八滝等の景勝地が点在し、豊かで多様な動植物が息づき良好な景観が形成されている等、木津川上流域は次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在している。

○ 木津川上流域においては、多様な水生生物が生息・繁殖可能な河川環境を目標に、今後概ね３０年間で、河道掘削にあわせ「オオサンショウウオ等の生育環境を保全する」など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。





遊水地と本川の連続性の回復（小田魚道）

水生生物調査・環境学習

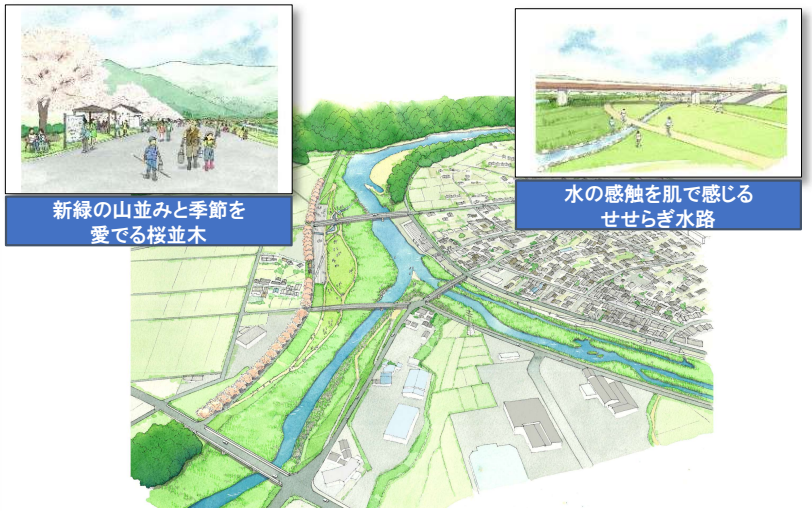
連続性の確保（高岩井堰）

ヤギを活用した除草

### ●治水対策における多自然川づくり
- 上下流の連続性の回復
- 遊水地と本川の連続性の回復
- 生物の多様な生育環境の保全・再生
- 木津川上流多自然川づくり全体計画による河川環境の保全

### ●魅力ある水辺空間・賑わい創出
- 地域の歴史・文化に配慮した河川景観の保全
- 名張かわまちづくり
- ミズベリングの実施

### ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み
- ヤギを活用した除草
- 牧草等に活用される刈草ロールの配布
- 小中学生による水生生物調査
- 河川レンジャー制度を活用した環境学習
- 水辺の楽校を活用した環境学習




名張かわまちづくり

【全域に係る取組】
- 地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援
- 土砂動態などを把握するための継続的なモニタリング
- 生態系にも配慮した総合土砂管理の検討

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 淀川水系流域治水プロジェクト2.0 木津川上流分会【ロードマップ】
## ～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

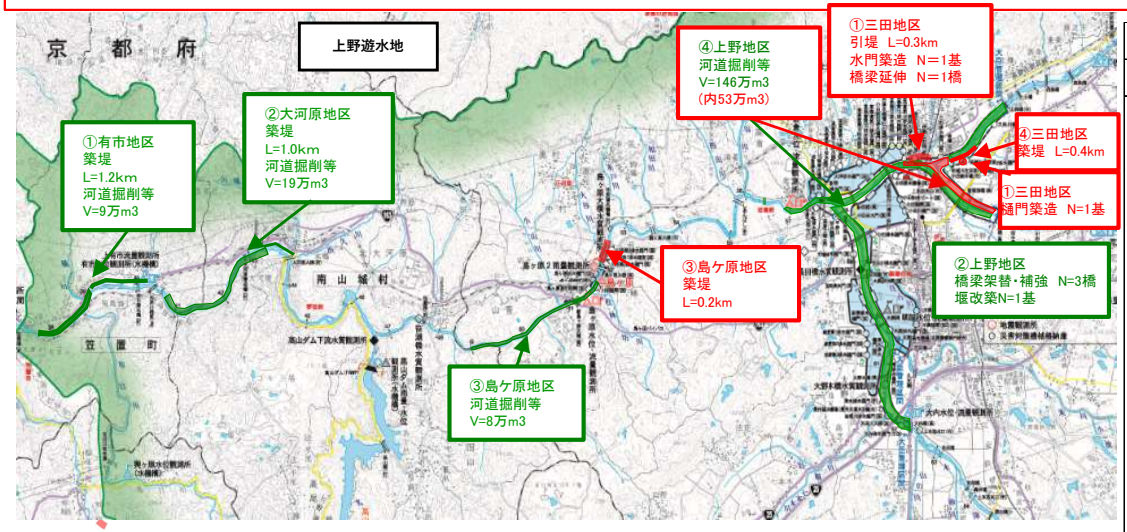
| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 短期 | 中期 | 長期 |
|---|---|---|---|---|---|
| グリーンインフラの取組 | 生物の多様な生育環境の保全・再生 | 国土交通省 | | | |
| | 遊水地と本川の連続性の回復 | 国土交通省 | | | |
| | 上下流の連続性の回復 | 国土交通省 | | | |
| | 木津川上流多自然川づくり全体計画による河川環境の保全 | 国土交通省 | | | |
| | 地域の歴史・文化に配慮した河川景観の保全 | 国土交通省 | | | |
| | 名張かわまちづくり | 国土交通省 | | | |
| | ミズベリングの実施 | 国土交通省 | | | |
| | 地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援 | 国土交通省 | | | |
| | 民間活力による河川環境保全及び地域活性化への支援 | 国土交通省 | | | |
| | 環境学習関係 | 国土交通省 | | | |
| | オオサンショウウオの生育環境に配慮 | 国土交通省 | | | |
| | 外来魚駆除による河川環境の保全 | 国土交通省 | | | |
| | 土砂動態などを把握するための継続的なモニタリング | 国土交通省 | | | |
| | 生態系にも配慮した総合土砂管理の検討 | 国土交通省 | | | |

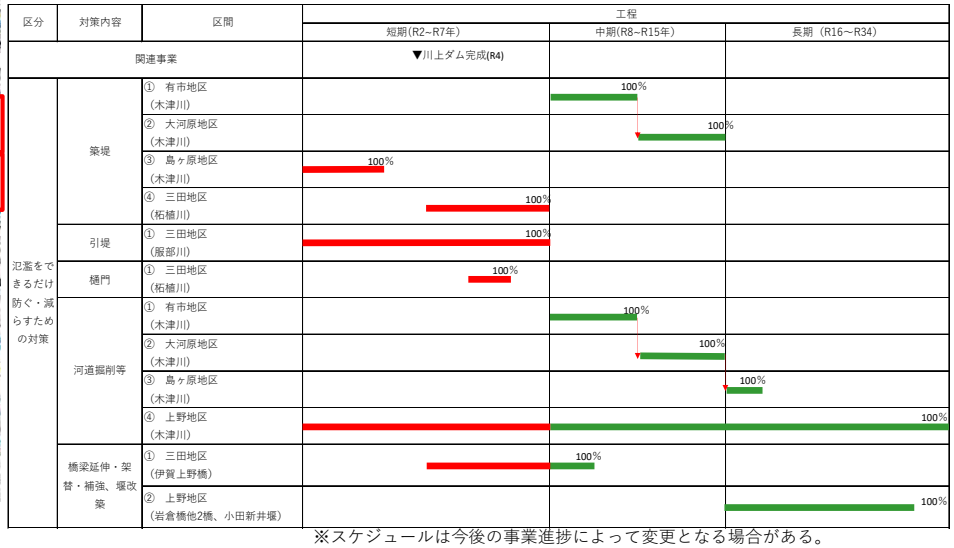
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 淀川水系流域治水プロジェクト　木津川上流分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】
## ～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

**短期整備（５カ年加速化対策）効果　：　河川整備率　約68％→約77％**

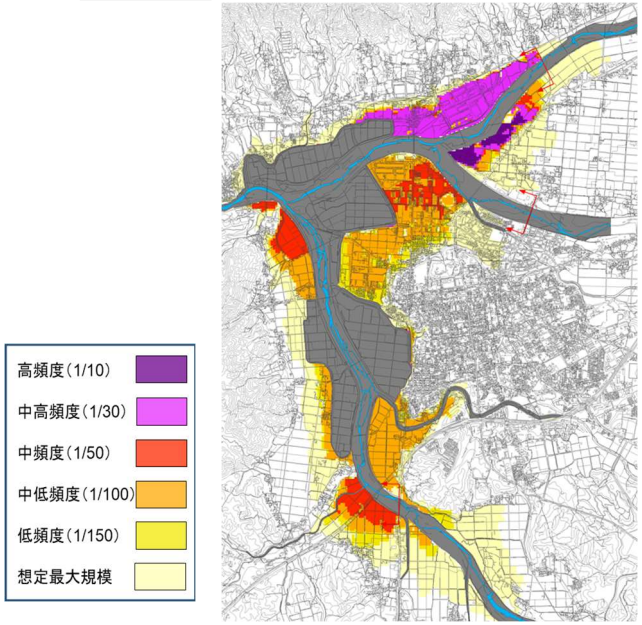
現在供用している上野遊水地、川上ダム建設事業のR4完了、木津川支川服部川の三田地区の引堤整備のR7完了、引き続き服部川河道掘削等の推進により、服部川、柘植川合流部の資産集中地区において戦後最大である昭和28年台風13号規模洪水を安全に流下させることが可能。



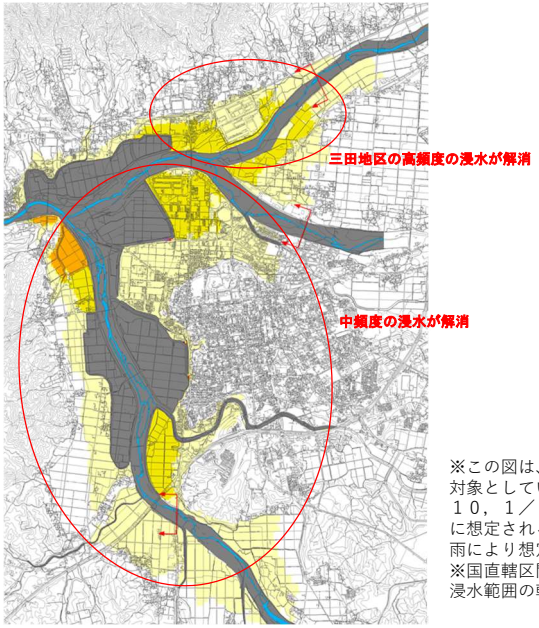




※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載している。

**現状**




**短期**




**【短期整備完了時の進捗】**
**築堤**
**③島ヶ原地区　築堤　100%**
**④三田地区　築堤　100%**
**引堤**
**①三田地区　引堤　100%**
**樋門**
**①三田地区　樋門　100%**
**河道掘削**
**④上野地区　河道掘削　34%**
**橋梁延伸・架替**
**①三田地区　橋梁延伸・架替　67%**

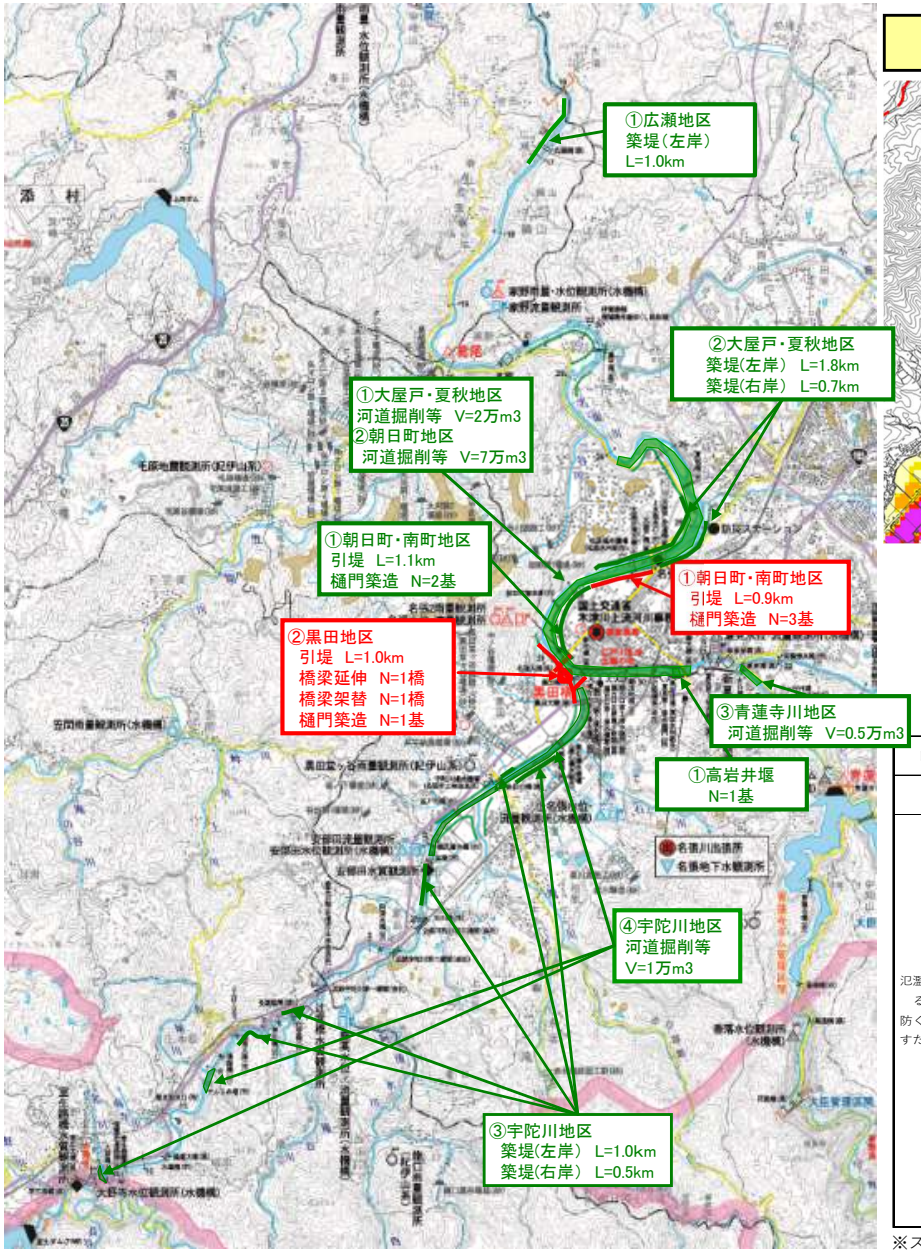
※この図は、河川の長期計画　（河川整備基本方針）で計画対象としている１／１５０確率年の降雨及びその降雨を１／１０，１／３０，１／５０，１／１００の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。
※国直轄区間のからの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。

# 淀川水系流域治水プロジェクト　木津川上流分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】

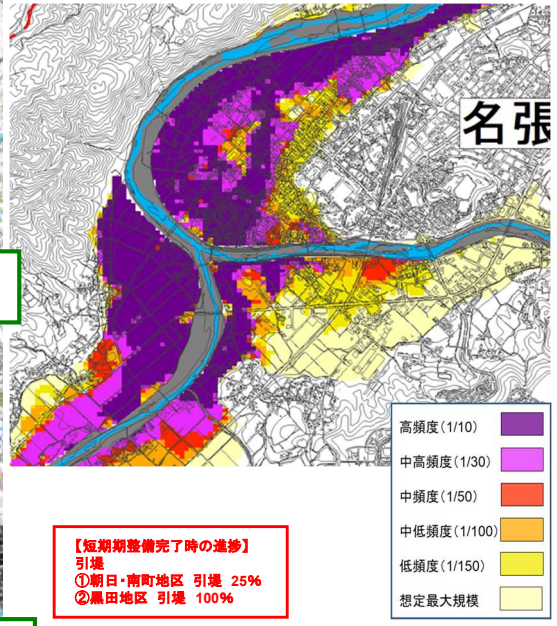
～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

**短期整備（５カ年加速化対策）効果　：　河川整備率　約68％→約77％**

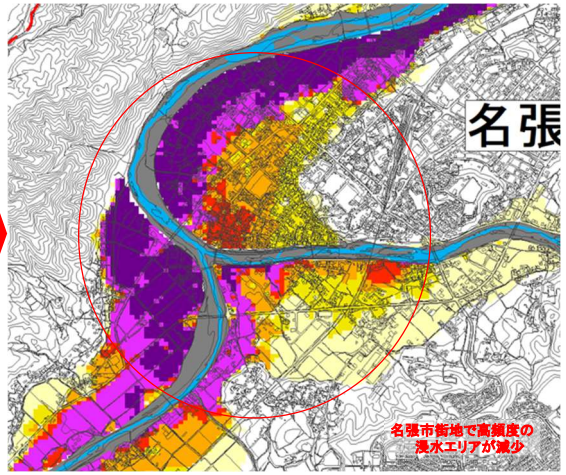
黒田地区引堤事業（旧堤撤去含む）完了させ名張市街地の水位を約1m低下させ越水を回避させるとともに、朝日町・南町地区引堤事業を推進することで、名張市街地の治水安全度をさらに向上。




**現状**

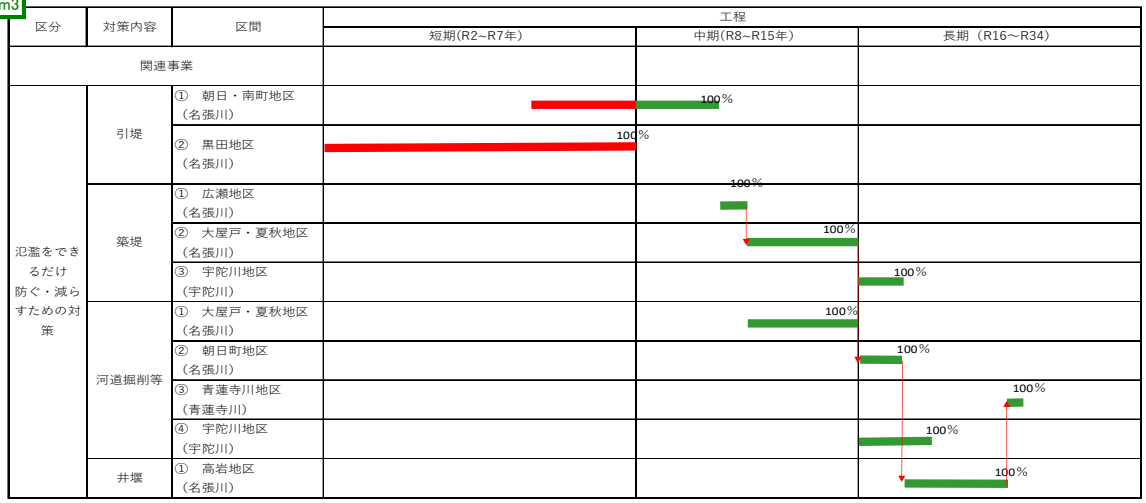



**短期**




**【短期期整備完了時の進捗】**
**引堤**
**①朝日・南町地区　引堤　25%**
**②黒田地区　引堤　100%**

※この図は、河川の長期計画　（河川整備基本方針）で計画対象としている１／１５０確率年の降雨及びその降雨を１／１０，１／３０，１／５０，１／１００の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。
※国直轄区間のからの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。




※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。　※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載している。

# 淀川水系流域治水プロジェクト（木津川上流分会）【流域治水の具体的な取組】

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

**戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）**
整備率：７７％
（概ね５か年後）

**農地・農業用施設の活用**
５０市町村
（令和６年度末時点）

**流出抑制対策の実施**
２５３施設
（令和５年度実施分）

**山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策**
治山対策等の実施箇所　４６箇所
（令和６年度実施分）
砂防関係施設の整備数　６施設
（令和６年度完成分）
※施行中　９３施設

**立地適正化計画における防災指針の作成**
２０市町村
（令和６年７月末時点）

**避難のためのハザード情報の整備**
洪水浸水想定区域　２９０河川
（令和６年９月末時点）
内水浸水想定区域　１４団体
（令和６年９月末時点）

**高齢者等避難の実効性の確保**
避難確保計画　洪水 14,904施設　土砂 966施設
（令和６年９月末時点）
個別避難計画　49市町村
（令和５年1月1日時点）

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 名張川改修【木津川上流河川事務所】

河道拡幅や掘削等により、流下能力の向上を図り、治水安全度を向上させる。

### 木津川（指定区間）大規模特定河川事業【三重県】

### 町並川地下バイパスの整備【奈良県】

地下河川（バイパス河川）整備により、豪雨による浸水被害を軽減させる。

### 砂防堰堤【紀伊山系砂防事務所】

### 急傾斜地崩壊対策事業【三重県】

砂防堰堤、擁壁工等の整備により、土砂災害の被害を軽減させる。

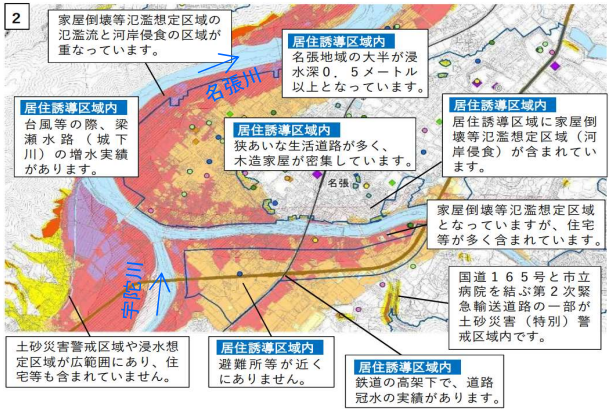
### 既設ダムの機能維持【水資源機構】

川上ダムの代替容量を利用し、 各ダムの貯水位を低下させ堆積土砂の陸上掘削を行うことにより、ライフサイクルコストを低減する。

## 被害対象を減少させるための対策

### 名張立地適正化計画（防災指針含む）の策定【名張市】

パブリックコメントを実施し、議会、都市計画審議会での報告を行い、令和6年7月31日に策定・公表。ハザードエリア内の居住誘導区域の設定に伴い防災指針を定めて災害リスクの回避や除去・低減に取り組むとともに市民一人ひとりが防災意識の高いまちを構築していく




～名張地区のハザード情報～

＜防災指針に位置づける取組例＞

[ハード]
- 河川改修（名張かわまちづくり一体型浸水対策事業）
- 狭あい道路整備　等

[ソフト]
- 防災知識の普及啓発、防災教育
- 避難確保計画の作成・検証　等

## 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

### 治水、防災に関する出前講座の実施【宇陀市、紀伊山系砂防】

河川災害や土砂災害の種類、メカニズム、ハザードマップでの避難所の確認を通じて自助力向上を図る。

### 伊賀線第一陸閘の操作訓練を実施【伊賀市、伊賀鉄道、木津川上流河川】

国土交通省と伊賀市の連携を深めることを目的に毎年実施。災害発生時に迅速な対応ができる体制を確立。

### 伊賀市マイ・タイムライン講習会の開催【伊賀市、木津川上流河川】

流域治水の意識、重要性に対する流域関係者の理解と協力を求める働きかけを実施。

※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。
※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。